

◇幼児教育学科について◇

「保育人^{びと}」は「未来」を変える

子どもの育ちを支える専門職になることは、「子どもを学び、子どもに学ぶ」「自然を学び、自然に学ぶ」「地域を学び、地域に学ぶ」ことです。上田の幼教は子どもの育ちを支え、未来を創る「保育人^{びと}」を養成します。

保育者に必要なスキルを身につけ、豊かな感受性と想像力を育みます。広く深い、充実のカリキュラム。社会で役立つ知識や技術を身につけよう

- ・幼稚園教諭2種免許・保育士資格の取得
- ・子どもの育ちを支える

人生の土台としての乳幼児期を豊かにする場が「保育」です。そこに参加し、

子どもの育ちを支えるため、子どもたちと楽しくかかわるための音楽。充実した音楽教育で音楽が得意な人も、苦手な人も学ぶことができます。

- ・基礎的な教養、思考力・表現力あるいはデザインの学びを通じた対人的応答的な学び

進路の多様な選択機会があります。(免許・資格を生かした専門職<公務員・民間>のみならず、関連領域・接続領域への進学、学びなおし等)

デザインの学びの手法、case study、case method等、学びの手法の習得します。

- ・信州大学教育学部と連携しています。異なる大学の、同じく子どもの育ちや学びをテーマに学ぶ学生同士が、連携することでお互いに学び合う場があります。

- ・附属幼稚園

附属幼稚園が隣接していることで、講義内外を問わず、日常的に子どもとかかわる環境があります。

3つのコース(自然保育コース、福祉社会コース、表現文化コース)で得意分野をさらに深められます

- ・地域とともに、地域に学ぶ

もう一つの学びのフィールド“やまんばの森(裏山)”で自然保育を学びます。

地域に出かけて、必要とされる保育を学びます。

アクティブ・ラーニングや地域課題参加型学習で様々な表現を学びます。